

D-Link DPS-520  
PoE Redundant Power Supply

..... ユーザマニュアル .....



## 安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 <b>危険</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 <b>警告</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 <b>注意</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物的損害が発生するおそれがあります。

記号の意味  してはいけない「**禁止**」内容です。  必ず実行していただく「**指示**」の内容です。

### 危険

- |   |  |
|---|--|
|  <b>禁止</b> 分解・改造をしない<br>火災、やけど、けが、感電などの原因となります。  |  <b>禁止</b> 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |
|  <b>禁止</b> ぬれた手でさわらない<br>感電の原因となります。   |  <b>禁止</b> 内部に金属物や燃えやすいものを入れない<br>火災、感電、故障の原因となります。   |
|  <b>禁止</b> 水をかけたり、ぬらしたりしない<br>内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。   |  <b>禁止</b> 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。<br>また、砂などが付着した手で触れない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。   |
|  <b>禁止</b> 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。                            |  <b>禁止</b> 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、圧力釜など高压容器に入れたり、近くに置いたりしない<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。   |
|  <b>禁止</b> 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜く<br>火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。 |  |

### 警告

- |   |   |
|---|---|
|  <b>禁止</b> 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない<br>故障の原因となります。   |  <b>指示</b> ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る<br>引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
|  <b>禁止</b> 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない<br>感電、火災の原因となります。<br>使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼ください。 |  <b>禁止</b> カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない<br>素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。                              |
|  <b>禁止</b> 表示以外の電圧で使用しない<br>火災、感電、または故障の原因となります。   |  <b>指示</b> 無線製品は病院内で使用する場合は、各医療機関の指示に従って使用する<br>電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。                                     |
|  <b>禁止</b> たこ足配線禁止<br>たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。  |  <b>禁止</b> 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない<br>火災、または故障の原因となります。   |
|  <b>指示</b> 設置、移動のときは電源プラグを抜く<br>火災、感電、または故障の原因となります。   |  <b>指示</b> 耳を本体から離してご使用ください<br>大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。  |
|  <b>禁止</b> 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない<br>感電の原因となります。  |  <b>指示</b> 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、販売業者に、電波による影響について確認の上使用する<br>医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。    |
|  <b>禁止</b> ケーブル/コード類や端子を破損させない<br>無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障の原因となります。      |  <b>指示</b> 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う<br>電子機器の近くでは使用しない<br>電子機器が誤動作するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。                                  |
|  <b>指示</b> 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを指定のコンセントに正しく接続して使用する<br>火災、感電、または故障の原因となります。                           |  <b>指示</b> ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、割れたガラスや露出した端末内部に注意する<br>破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。                        |
|  <b>禁止</b> 各光源をのぞかない<br>光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。                   |  <b>指示</b> ペットなどが本機に噛みつかないように注意する<br>火災、やけど、けがなどの原因となります。  |
|  <b>禁止</b> 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにする<br>火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。            |  <b>禁止</b> コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させない<br>火災、やけど、感電または故障の原因となります。                                 |
|  <b>禁止</b> 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない<br>火災、やけどまたは故障の原因となります。   |  <b>禁止</b> AC アダプタや電源ケーブルに海外旅行用の変圧器等を使用しない<br>発火、発熱、感電または故障の原因となります。   |

**警告**

- !** ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
- !** 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
- !** 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** 使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 禁止** SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 禁止** 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
- !** デーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだデーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

**注意**

- 禁止** 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- !** 静電気注意  
コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
- 禁止** コードを持って抜かない  
コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
- 禁止** 振動が発生する場所では使用しない  
故障の原因となります。
- !** 付属品の使用は取扱説明書に従う  
本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 禁止** 破損したまま使用しない  
火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 禁止** ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない  
落下して、けがなどの原因となります。
- 禁止** 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
- !** 本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることがあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 禁止** コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
- !** 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
- 禁止** D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプションを使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

**電波障害自主規制について**

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 安全にお使いいただくために

---

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/info/product-assurance-provision.html>



製品に貼られているラベルや「Warranty Void Sticker」(シール)をはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

※当社出荷時に「Warranty Void Sticker」(シール)が貼られていない製品もあります。

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>

## 目次

安全にお使いいただくために.....	2
<b>はじめに</b> .....	<b>6</b>
本マニュアルの対象者.....	7
表記規則について.....	7
製品名 / 品番一覧.....	7
<b>第 1 章 本製品のご利用にあたって</b> .....	<b>8</b>
DPS-520 について.....	8
サポートする機能.....	8
外観について.....	8
<b>第 2 章 機器の設置</b> .....	<b>9</b>
パッケージの内容.....	9
ラックの取り付け.....	9
スイッチとの接続.....	11
電源の接続.....	11
製品仕様.....	12
RPS ケーブルのピン割り当て.....	12
<b>第 3 章 Web インタフェース</b> .....	<b>13</b>
Web ベースの管理について.....	13
Web マネージャへのログイン.....	13
システム構成 (System Configuration).....	14
PoE 情報 (PoE Configuration).....	14
ツール (Tools).....	15
<b>第 4 章 保証とテクニカルサポート</b> .....	<b>16</b>
製品に関するお問い合わせについて.....	16
お問い合わせに必要な情報.....	16
個人情報のお取り扱い.....	16
日本国外での使用について.....	17
廃棄方法について.....	17
商標について.....	17
ご注意.....	17

## はじめに

本ユーザマニュアルは、本製品の設置および操作方法について記載しています。

- 第1章 [本製品のご利用にあたって](#)
  - 製品の概要と機能、外観について説明します。
- 第2章 [機器の設置](#)
  - 本製品の基本的な設置方法について説明します。
- 第3章 [Web インタフェース](#)
  - 本製品の Web インタフェースについて説明します。
- 第4章 [保証とテクニカルサポート](#)
  - 本製品の保証とテクニカルサポートについて説明します。

## 本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

## 表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

**注意** 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

**警告** 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

**補足** 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

**参照** 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" <a href="#">ご使用になる前に</a> " (13 ページ) をご参照ください。

## 製品名 / 品番一覧

製品名	品番
DPS-520	DPS-520/A1

## 第 1 章 本製品のご利用にあたって

- [DPS-520 について](#)
- [サポートする機能](#)
- [外観について](#)

### DPS-520 について

D-Link DPS-520 は、90W/ ポートの PoE 供給を行うことができる Power over HDBaseT (PoH) に対応、ラックマウント可能な RPS (Redundant Power System) です。このマニュアルでは、本製品をセットアップし、受信 PoH をサポートするスイッチに取り付ける手順を説明します。

ネットワーク内のスイッチの内部電源に障害が発生した場合、単一のスイッチングデバイスまたはネットワーク全体のシャットダウンが発生する可能性があります。DPS-520 は、こうした電源障害時に役立つソリューションを提供します。

RPS を接続すると、集積検出回路がスイッチの内部電源を継続的に監視します。電源が中断された場合、RPS がただちにトリガーされ、スイッチ及びその配下のデバイスはサービスの提供を継続できます。これにより、より信頼性の高いネットワークインフラストラクチャが実現され、ネットワーク機器の電源の単一障害からネットワークが保護されます。

### サポートする機能

- 電源故障を回避する電源の冗長化を実現
- PoE 接続による冗長電源化
- DPS-800 を使用した 19 インチラックマウントへの設置
- ホットスワップ機能によりスイッチ稼働中の設置
- スwitchの主電源故障時に瞬時に電源供給
- スwitchの RPS LED により状態の確認
- WebUI によるステータスレポート
- RoHS 指令対応

### 外観について

DPS-520 は、4つのギガビットイーサネット 90W PoH ポートと1つのギガビットイーサネット管理ポート (MGMT) を備えた RPS ユニットです。PoH を使用して、標準のイーサネット UTP/STP ケーブル (Cat5e 以上) を使用して PoH 対応スイッチに接続します。また、標準の三極インレット AC 電源ケーブルで、RPS を主電源に接続します。

#### DPS-520

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート x 4 (PoH ポート x 4)
- MGMT ポート x 1

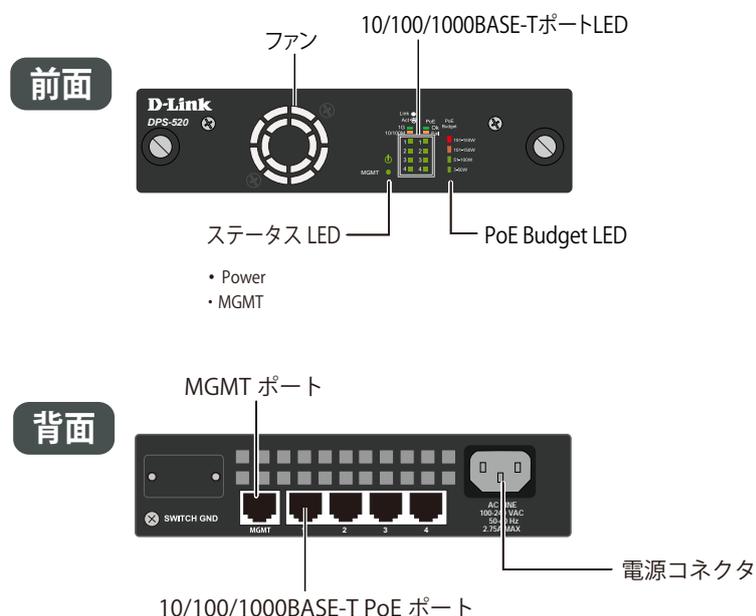


図 1-1 DPS-520 外観

## 第2章 機器の設置

- パッケージの内容
- ラックの取り付け
- スイッチとの接続
- 電源の接続
- 製品仕様
- RPS ケーブルのピン割り当て

### パッケージの内容

ご購入いただいた製品の梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- 本体
- AC 電源ケーブル
- ゴム足 x 4
- クイックインストールガイド
- PL シート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。

### ラックの取り付け

本製品は、DPS-800（シャーシ）に挿入することにより、デスクトップまたは標準スイッチラックに取り付けることができます。DPS-800 は、RPS ユニットの 2 台配置することが可能な標準サイズのラックマウントです。

#### DPS-800 への取り付け

DPS-520 を DPS-800 に取り付けます。

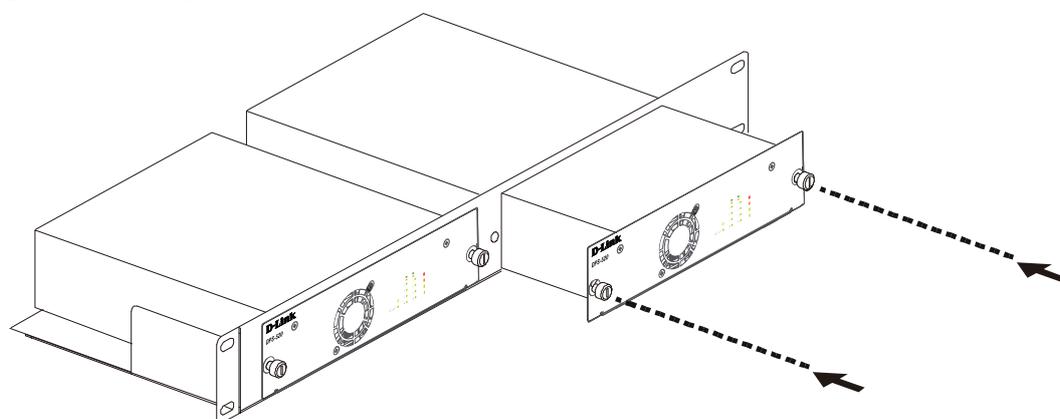


図 2-1 DPS-800 への取り付け (DPS-520)

DPS-800 のスロットに DPS-520 を差し込み、付属のネジを使用して DPS-800 に取り付けます。

### 19 インチラックに本製品を取り付ける

19 インチラックに本製品を取り付けます。作業を行う際は、安全のため以下の点を確認してください。

- A. 動作時の周囲温度の上昇**  
密閉型のラックや、多くの製品が搭載されたラックに設置した場合、動作時のラック周囲の温度が室温を上回ることがあります。本製品の最大動作温度に準拠する環境に設置するよう注意してください。
- B. 通気量の低下**  
ラック内で、機器の安全な動作に必要な通気量が確保されるようにしてください。
- C. 機械的荷重**  
ラックへ取り付ける場合、機械的荷重がかたよると危険です。荷重が不均等にならないよう注意してください。
- D. 回路の過負荷**  
電源回路に装置を接続する際は、回路が過負荷状態になったときに、過電流保護機能および配線に及ぼす影響に注意してください。この問題に対応する際は、装置の銘板に記載されている定格を考慮してください。

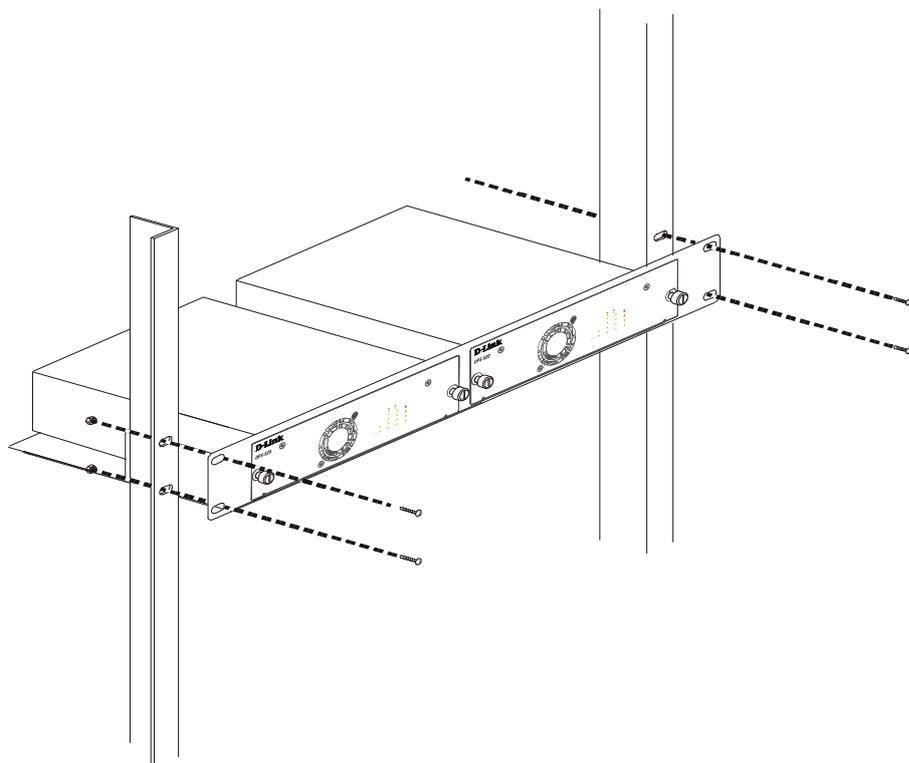


図 2-2 DPS-800 (DPS-520) のラックへの設置

## スイッチとの接続

スイッチに電源を供給できるのは、LAN ポート 1-4 のみです。DC 電力の PoH 対応イーサネットケーブルの一方の端を DPS-520 の LAN ポートの 1 つに挿入し、もう一方の端をスイッチの PoH 対応入力ポート（MGMT/管理ポート）に挿入します。

**注意** LAN ケーブルを MGMT ポートに接続する前に、RPS を AC 電源に接続しないでください。内部電源が破損する恐れがあります。

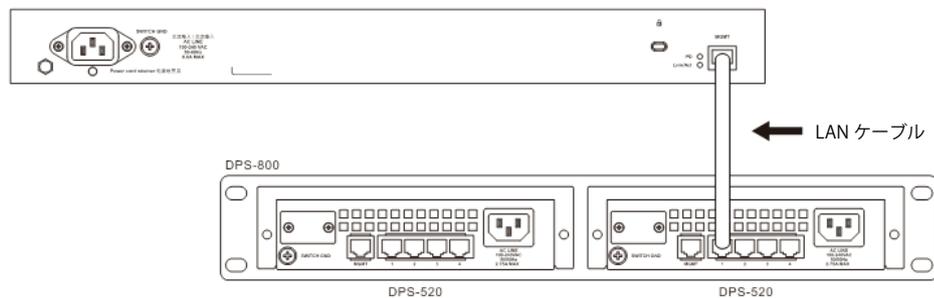


図 2-3 DPS-520（DPS-800 に設置）とスイッチの接続

**注意** DPS-520 の MGMT ポートはスイッチに電源を供給できません。このポートは、管理 PC への接続に使用されます。

## 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用してリダンダント電源に電力を供給します。

1. 本製品の背面パネルの電源コネクタに電源ケーブルを接続します。
2. 電源プラグをコンセントに接続し、電源をオンにします。

RPS の前面パネルに搭載された LED が緑色に点灯し、接続が成功したことを示します。

### 製品仕様

仕様	DPS-520
AC 入力電圧	100 ~ 240VAC
AC 入力周波数	50 ~ 60Hz
動作温度	0 ~ 50°C

### RPS ケーブルのピン割り当て

RPS をスイッチに接続して PoH 電力を供給するには、標準カテゴリ 5e 以上のイーサネットケーブルを使用します。以下に、RJ45 PoH レセプタクル / コネクタとピンの割り当てを示します。

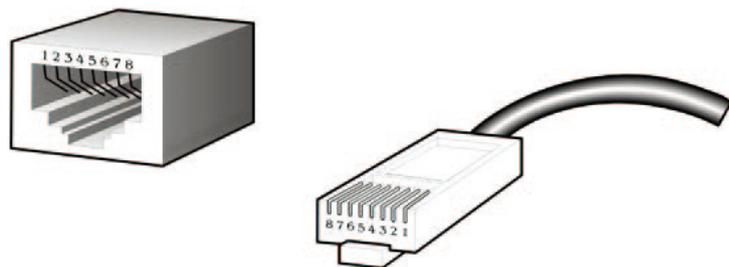


図 2-4 RJ45 PoH ピン割り当て

ピン	説明	
1	Rx A+	受信データ
	DC-	給電力 (-) 48V
2	Rx A-	受信データ
	DC-	給電力 (-) 48V
3	Tx B+	送信データ
	DC+	供給電源 (+) 0V
4	BI C+	双方向データ
	DC+	供給電源 (+) 0V
5	BI C-	双方向データ
	DC+	供給電源 (+) 0V
6	Tx B-	送信データ
	DC+	供給電源 (+) 0V
7	BI D+	双方向データ
	DC-	給電力 (-) 48V
8	BI D-	双方向データ
	DC-	給電力 (-) 48V

## 第3章 Web インタフェース

- Web ベースの管理について
- Web マネージャへのログイン
- Web ベースの管理について
- PoE 情報 (PoE Configuration)
- ツール (Tools)

### Web ベースの管理について

Web UI (Web ユーザインタフェース) を使用して、RPS で使用可能なソフトウェア機能へアクセスすることができます。これらの機能は、Microsoft の Internet Explorer、Mozilla Firefox、Google Chrome、Safari などの標準 Web ブラウザを使用して、LAN ポートまたは管理ポートでアクセスできます。

### Web マネージャへのログイン

Web UI にアクセスするには、標準 Web ブラウザを開き、ブラウザのアドレスバーに RPS の IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

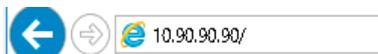


図 1-1 URL の入力

**注意** 工場出荷時設定では IP アドレス「10.90.90.90」、サブネットマスク「255.0.0.0」が設定されています。

Web UI に正常に接続すると、以下の画面が表示されます。

 A screenshot of the web management interface for a DPS-520 PoE Redundant Power Supply. The interface is organized into several sections:
 

- System Configuration:** A table displaying system details such as Hardware Version (A1), Runtime Version (1.00.007), Total Power Consumption (0 W), Remained Power Budget (180 W), IP Address (10.90.90.90), Gateway (10.0.0.254), Serial Number, DPS-520 State (Standby), Power Budget (180 W), Temperature (46 Centigrade), Subnet Mask (255.0.0.0), and MAC Address (00-10-18-55-44-4B). There is an "Apply" button at the bottom right of this section.
- POE Configuration:** A table with columns for Port, Link State, EEE State, Power Consumption, and IP Address. It lists ports 1 through 4, all with "Enabled" EEE states and "0 W" power consumption. Port 1 is "Up", while ports 2, 3, and 4 are "Down". There is a "Link" button next to the IP address field.
- Tools:** A section containing "Factory Default" and "Firmware Upgrade" options, each with an "Apply" button. The "Firmware Upgrade" option includes a "Source File" field and a "Browse..." button.

 At the bottom of the interface, there is a copyright notice: "Copyright © 2020 D-Link All rights reserved."

図 1-2 Web ユーザインタフェース (Web UI)

### システム構成 (System Configuration)

本画面では、システムの IP アドレスなどを設定することができます。

図 1-3 System Configuration 画面

設定項目：

項目	説明
IP Address	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Gateway	ゲートウェイ IP アドレスを設定します。

「Apply」ボタンをクリックして、変更を適用します。

また、このセクションには、ハードウェアバージョン、シリアル番号、ランタイムバージョン、ステータス、総消費電力、最大供給電力、残供給電力、温度、MAC アドレスなどのシステム情報が表示されます。

#### 注意

ソフトウェアの変更を有効にするには、DPS-520 を再起動する必要があります。DPS-520 を再起動するには、AC 電源コードを取り外してから、背面パネルの AC 電源ポートに再度挿入する必要があります。

### PoE 情報 (PoE Configuration)

本画面では、EEE ステータスの設定やスイッチへの HTTP 接続などを行います。

図 1-4 PoE Configuration 画面

設定項目：

項目	説明
EEE State	各ポートの EEE ステータスを設定します。
IP Address	RPS に接続されているスイッチの IP アドレスを入力し、「Link」ボタンをクリックすると、Web ブラウザで新しいタブが開き、スイッチの WebUI に接続することができます。

また、このセクションには、ポート番号、リンクステータス、消費電力などの PoE 情報が表示されます。

## ツール (Tools)

工場出荷時へのリセット、ファームウェアアップグレードを行います。



図 1-5 Tools 画面

以下の項目が表示されます。

項目	説明
Factory Default	「Apply」ボタンをクリックすると、RPS 上のソフトウェアが工場出荷時のデフォルトにリセットされます。
Firmware Upgrade	ファームウェアをアップグレードするには、以下の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"><li>「Browse (参照)」ボタンをクリックし、新しいファームウェアファイルを指定します。</li><li>「Apply」ボタンをクリックして RPS 上のファームウェアをアップグレードします。</li></ol>

**注意** ソフトウェアの変更を有効にするには、DPS-520 を再起動する必要があります。DPS-520 を再起動するには、AC 電源コードを取り外してから、背面パネルの AC 電源ポートに再度挿入する必要があります。

### 第4章 保証とテクニカルサポート

- 製品に関するお問い合わせについて
- お問い合わせに必要な情報
- 個人情報のお取り扱い
- 日本国外での使用について
- 廃棄方法について
- 商標について
- ご注意

#### 製品に関するお問い合わせについて

---

下記事項をご確認のうえ、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

- 1、ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
- 2、弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
- 3、ダウンロードサービスをご利用ください。
  - ・最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/>

**注意** 並行輸入品や海外で購入した製品はサポート対象外です。また、ディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）でも、日本国外で使用している場合は、サポート対象外となります。

**注意** 製品に貼られているラベルや「Warranty Void Sticker」（シール）をはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

※当社出荷時に「Warranty Void Sticker」（シール）が貼られていない製品もあります。

#### お問い合わせに必要な情報

---

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてご確認の上、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

- ・製品名
- ・お買い上げ年月日
- ・シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン  
（ファームウェア、ソフトウェアがある製品）
- ・ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・エラーメッセージが表示されている場合は、その内容をお知らせください。

#### 個人情報のお取り扱い

---

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

## 日本国外での使用について

---

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。なお、テクニカルサポートはディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）を、日本国内で使用している場合のみしか受けられません。

## 廃棄方法について

---

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

## 商標について

---

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。  
Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。  
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

## ご注意

---

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。  
弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。  
弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2021 ディーリンクジャパン株式会社